

開館30周年記念 令和5・6年度特別展

令和6年3月16日(土)～4月28日(日)

川瀬巴水の追憶の情景

～ 巴水が描いた茨城県 ～



川瀬巴水《浮島柳繩》1936年12月、当館蔵

稲敷市立歴史民俗資料館

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

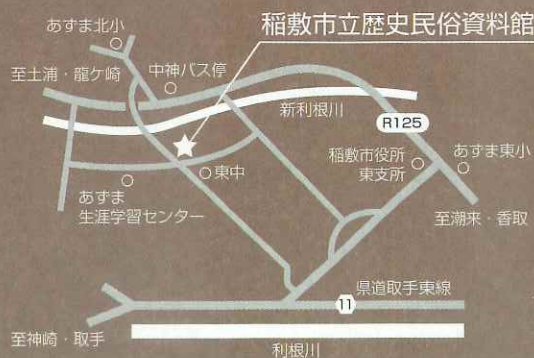
休館日：毎月曜日・祝日・3月28日、4月25日。

〒300-0736 茨城県稲敷市八千石18-1 TEL.0299-79-3211 FAX.0299-79-3213

<http://www.city.inashiki.lg.jp/page/dir000985.html>

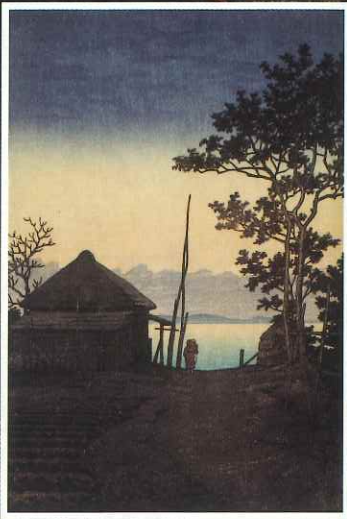
交通案内 JR 佐原駅・JR 下総神崎駅よりタクシーで約20分

JR 佐原駅1番バスのりばより江戸崎・光葉中央行、中神バス停下車徒歩約25分

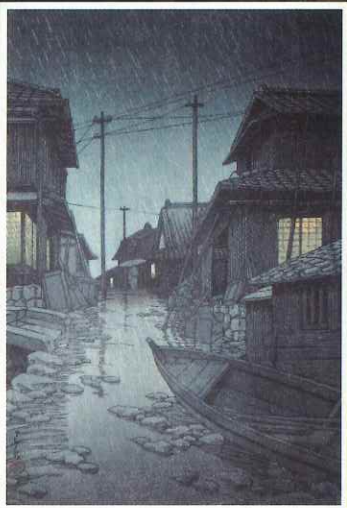


巴水が描いた、茨城を訪ねよう！

茨城県を描いた川瀬巴水作品、37点を一堂に公開する初の展覧会。



川瀬巴水《麻生之夕》
1936年12月、個人蔵



川瀬巴水《河原子夜雨》
1947年、個人蔵

川瀬巴水は、大正・昭和期に江戸時代の浮世絵版画の復興と近代化を目指した「新版画」と呼ばれる芸術活動の中、風景画を中心に作品を創り続けました。

「巴水」の雅号は、故郷にちなみ師・鏑木清方に与えられたもので、清方一門の展覧会名は「郷土会」であり、巴水作品の多くに「望郷（ノスタルジア）」が感じられることは、師・清方の教えや新版画における風景画の在り方と関係があります。

本展では、茨城が美景の宝庫であり巴水芸術の真骨頂を含むこと、巴水と版元・渡邊庄三郎（五霞町出身）の関係に光を当てます。

資料提供 渡邊愨夫、茨城キリスト教大学、江川天満宮、太田区立郷土博物館、大津市歴史博物館、鎌倉市鏑木清方記念美術館、五霞町教育委員会、佐賀県立美術館、清水屋、千葉市美術館、ひろしま美術館、渡邊木版美術書舗、他。（順不同、敬称略）



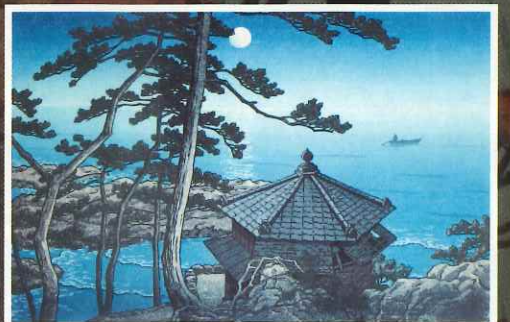
川瀬巴水《浮島戸崎》
1936年12月、当館蔵



川瀬巴水《潮来乃初秋》
1936年12月、個人蔵



川瀬巴水《水戸薬王院》
1945年、渡邊木版美術書舗蔵



川瀬巴水《五浦之月》
1952年、個人蔵

特別展講演会

日時 令和6年3月30日（土）午後2時～3時30分
会場 稲敷市立図書館 2階 視聴覚室 定員70名
講師 染谷智幸先生（茨城キリスト教大学教授、同大川瀬巴水とその時代を知る会代表）
演題 「川瀬巴水の見た茨城と浮島－〈巴水の会〉の調査から分かること」事前予約制

特別展記念講演会

日時 令和6年4月20日（土）午後2時～3時30分
会場 あずま生涯学習センター 大ホール 定員500名
講師 林望先生（日本文学者、作家、書誌学者）
演題 「巴水は何を見ていたか」事前予約制